

甘楽・多野地域町村議会 議員鳥獣被害対策協議会



6月1日(水)、甘楽町・下仁田町・南牧村・上野村・神流町の5つの町村議会議員で構成される「甘楽・多野地域町村議会議員鳥獣被害対策協議会」が開催され、甘楽町議会からは、相川議員、金田議員が出席しました。

この協議会は、5町村の共通の課題である鳥獣被害の対策について検討していくために昨年、設立が決定しました。

各町村の被害状況の確認やこれからの事業計画について話し合いがされ、「鳥獣被害対策協議会」の運営がスタートしました。

富岡甘楽地方議会 議員連絡協議会



5月27日(金)、甘楽町、富岡市、下仁田町、南牧村の4市町村の議会議員で構成される「富岡甘楽地方議会議員連絡協議会」の定期総会が南牧村活性化センターで開催されました。

総会終了後には、長野県飯田市在住のシニア野菜ソムリエの久保田淳子氏を講師として招き、「南信州の食と地域おこし」と題し、伝統野菜を中心とした地域の魅力発信について講演していただきました。

議会を傍聴して

民生児童委員 (60歳代・女性)

折しも、テレビは「舛添都知事下ろし」の話題一色で、ふだんは見慣れない都議会議員も多数出演し大いに息巻いていたのを記憶しています。そんな時、町議会傍聴の好機を民生児童委員として得、あり

がたく参加させて頂きました。町議会は、小規模ながらも形式的・内容的に充実し、一般質問者の議員さん、答弁者の町長さん・担当課長さんそれぞれが町政について真摯に考え、町を動かして行っ

ている事が実感できました。民生児童委員として、少子高齢化問題の最前線で少しでもお役に立つ決意を新たにすると同時に、間近になつた参議院議員選挙と町長選挙、町議会議員補欠選挙では、責任ある一票を投じたいと思つた有意義な時間でした。

草刈ボランティア



5月20日(金)、毎年恒例になりました役場前の梅林の草刈りボランティアを町執行側の協力を得て実施しました。勢いよく伸びた草で階段が見えないほどでしたが、草刈り機や鎌で草を丁寧に刈り、やっと階段が現れました。作業は2時間ほどで終わり、心地良い汗と充実感が残りました。今年は、10月までにあと3回実施する予定です。



プレトリオ宮殿 (チェルタルド市)

町の わだい

～ ホームステイによる
国際交流 ～

町は、中学生のホームステイによる相互交流を 1986 年からイタリア・チェルタルド市、1998 年から中国黒龍江省ハルビン市教育局と隔年で行っています。

今年の夏は、イタリア・チェルタルド市から第 9 次青年使節団が 8 月 2 日(火)から 7 日(日)の日程で来町します。使節団来町にあわせて、道の駅甘楽で 8 月 4 日(木)・5 日(金)に「チェルタルド“食”のフェスタ」が開催されます。

町からも佐保議長を団長に 16 名の中学生団員が第 16 次中学生国際交流研修団として、8 月 16 日から 26 日の日程で訪伊、チェルタルド市でホームステイをし交流を深めます。

議会を 傍聴しませんか

次回定例会 (予定)

9月8日(木)～16日(金)

一般質問は、16日(金)の
予定です

全員協議会報告

4月20日(水)

議員協議会

◆農業委員会報告他 9 件

全員協議会

◆4月1日付け人事異動に伴う職員体制について他 22 件

5月20日(金)

議員協議会

◆小口融資審査委員会報告他 10 件

6月16日(木)

議員協議会

◆陳情の審査結果報告他 8 件

全員協議会

◆夏の県民交通安全運動他 16 件

表紙の説明

6月18日(土)、NPO法人自然塾寺子屋主催の「第8回 寺子屋田植え祭り」が甘楽町上野の田んぼで開催されました。当日は、晴天にも恵まれ、子どもから大人までおよそ 45 人の人が手植えによる田植えを体験しました。



議会常任委員会 合同研修会



4月20日(水)に、総務文教・社会産業常任委員会合同の研修会を実施しました。

この日は、お休み処信州屋(小幡)を会場に、今年から信州屋の指定管理者となったNPO法人自然塾寺子屋の矢島理事長から、NPO法人自然塾寺子屋のこれまでの活動内容やこれからの事業計画について話を伺い、意見交換を行いました。

地域が抱えている課題の共有など相互理解を深めることができ、より良い町づくり、地域づくりのための研修会となりました。

町内各種事業の現地視察



町有林間伐事業



林道整備事業



通学路整備事業



町道拡幅事業

議会だより編集委員

委員長 長谷川 儀平
 副委員長 中里 芳久
 委員 金田 倍視
 委員 山崎 澄子
 委員 富岡 朝男
 委員 江原 榮和
 みなさんのご意見、ご感想をお寄せください。

梅雨の効用でしょうか。今の緑は特に心が癒される気がします。
 まだ明けやらぬ早朝、ホトトギスの甲高い鳴き声に目を覚まし、圃場では朝もやの中で、一日の農作業の開始です。
 花鳥風月四季折々の移ろいを感じ、情緒豊かなこの町で暮せる幸せ。
 いまなお被災の続く地方の一日も早い復興を祈らずにはいられません。
 (山崎澄子 記)

編集後記